



題字 佐藤甚蔵

発行所

東京亀城会

東京都港区南青山5-9-12

アイサワビル

阿部鎮一事務所

(郵便番号 107)

電話 (400) 1 1 5 1

発行人 河村竜郎

編集人 佐藤甚蔵

編集人 佐藤順陽

ごあいさつ

東京亀城会会長

河村竜郎



みなさんには益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

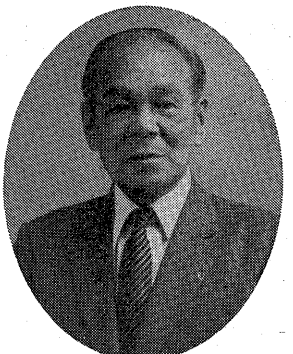
東京亀城会も酒田中学、東高関係者の東京同窓会として会員約千二百人以上を擁し、剛健の校風の下、相互の利をもとめ、それぞれの成果を周辺に及ぼしつつあることは同窓の一人として真に喜ばしい限りでございます。

小生らが、昭和の初期に学んだ鳥海の黙示・最上の溪流の下青春の教示はいつでも座右にあり、これらの享受の上にさらに新しい時代の智能を転活し自己生来の使命を全うせしめることが幸いと思ひます。会員各位の環境、智恵、教育の各周辺にさらに同窓各位の智能を活用せられることを望んで已みません。みなさんのご健康とご活躍をお願い申し上げます。

盛夏の候、同窓生の皆さま方には、お元気で活躍のことと存じます。

日頃、母校のためには何かとご配慮いただき、感謝いたしております。このたび東京亀城会から、その活動状況と実状をより広く周知徹底し、親睦をはかる意味で、年一回、会報が刊行されることになりました。

このプランをきき、まことに時宜を得た企画と首肯し



創刊にさいして

亀城同窓会会長

渡部暢夫

た次第です。

亀城同窓会は地元で、また東京亀城会は首都でと、それぞれ車の両輪として相互に支えあいながら、発展してまいりました。

しかし、相互にはなれてゐるため、ときとして活動状況の詳細が分らないことがあったり、人間関係に親疎の差がでたりすることが、ままあったことは否めませ

在校生の努力と先輩諸氏の指導力が渾然一体となれば到達できないものです。

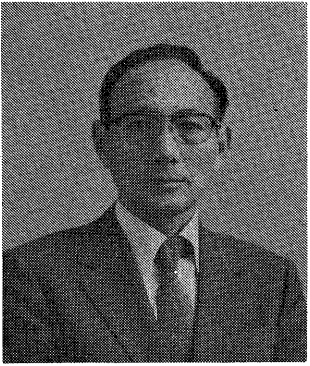
その意味でも、この会報が発刊されたことは意義深く、この第一号を礎にしてさらに第二号、第三号と発展していくように祈念いたします。いろいろ贅言を申し述べたことをお詫びしつつ、擲筆させていただきます。

お知らせ
昭和五年の東京亀城会総会において、「東京亀城会会報」発刊を決議されましたので、事務局としては、会長・副会長・顧問の諸先輩と相談の上、ようやく発刊の運びとなりました。

御挨拶

酒田東高等学校校長

佐々木金三



東京亀城会の皆様には御健で活躍のことと拝察致します。日頃激励のお便りや御援助を賜りましたことについて心から深く感謝いたし厚くお礼を申し上げます。次第であります。特に昨年の創立六十周年記念式典には多数の方々のお来賓を蒙り、また記念事業にもご協力下され、盛大の裡に終ることができましたことに、重ねて厚くお礼を申し上げます。

六十周年記念事業のうち、柔剣道場の建設はこの六月に完成し、七月二十日に竣工式を行いました。また六十周年記念誌及び同窓会名簿を刊行し配布中であり、柔剣道場ができたことと本年度中に旧校舎の解体が行なわれますので、当地においでの際は是非お立ち寄り下さい。新柔剣道場は現体育館の南側、もとの濠を埋めたてた場所に建設されています。

御恵贈下された美術作品は現在校長室、応接室、会議室等に展示されていますが、年度内に生徒のサロン室が建設されますがそこに展示されるようすめています。また卒業生の方々の著書等は亀城文庫として図書館の一角におさめ生徒の発奮の資といたしております。

生徒数は各学年年六級級の八〇六名で、そのうち三三三名の女子が共学しています。近年は殆んど進学希望者であります。

本校の伝統である、いわゆる文武両道の方針を継承し生徒の志望達成のための勉学と、気力体力の充実としての部活動の振興を両輪として地域の期待にこたえるべく教職員一丸となって奮励をいたしております。今後共一層ご鞭撻下されまじうお願い致します。

東京亀城会の皆様の御活躍を心から祈念しごあいさついたします。

母校も創立60周年をこえ、その光栄ある伝統を生かして、より一層の発展を企図したいところ、それに

東京亀城会二代会長
小松小児科医院

医師 小松直幸

(大正一五年卒業)

荒川区東日暮里三ノ二九ノ一二
電話 八九一五 四二六

祝 創刊 東京亀城会会報

東京覧会

(大正一四年第一回卒業生)

著述業

尾関貞一

(龍介)

新宿区北新宿四ノ二八ノ一
電話 三六九一五 八三〇

株式会社竹中製作所

常任顧問 近藤正夫

武蔵野市吉祥寺南町四ノ三ノ三
電話 〇四二二(四三)二七四二

日本木材防腐工業組合

専務理事 斎藤芳夫

目黒区自由ヶ丘二ノ一七ノ二三
電話 七七一六 七〇一

東京亀城会顧問

佐藤甚蔵

杉並区善福寺一ノ一四ノ二一
電話 三九〇一 一九七六

本妙寺

住職 田辺日暉

豊島区東鴨五ノ三五ノ六
電話 九一七一 一五五八

覧会とは初代校長寛齋先生のお名前を付けた第一回卒業生の会の名称です。

衆議院議員

阿部昭吾

(昭和二年卒業)

千代田区永田町 第二議員会館
七二六号室
電話 五〇八七 四七六
酒田市東大町二ノ一ノ六
電話 〇二三四(二二)七〇一六

山形県議會議員

斎藤辰夫

(昭和二〇年・三〇年・三二回卒業)
酒田市相生町一ノ六ノ一三
電話 〇二三四(二二)〇六九一

酒田市長

相馬大作

(昭和二年卒業)
酒田市富士見町一ノ二ノ一
電話 〇二三四(二二)一二二四

東京都板橋区議會議員

佐藤悦彦

(昭和二六年卒業)
板橋区成増四ノ二八ノ五
電話 九三〇三 二七一

座談会

○東京亀城会第一回生(大正十四年卒)は在京十...
○人、現役として活躍しております。創刊号の発刊...
○...に当たり尾関貞一(著述業、ペンネーム・龍介)...
○近藤正夫(会社顧問)、佐藤甚蔵(亀城会顧問)...
○...の三氏と二回生の小松直幸(東京亀城会・二代会...
○...長・医師)の三氏に創立当時の思い出や亀城会...
○酒田東高校に対する注文など、大いに語っていた...
○...だきました。

(聞き手・佐藤順陽 昭和二十九年卒)

一回生大いに語る

酒中創立の思い出や要望など

入学当時はいかがでしたか...
田の本庄中に行くしか...
たか...
佐藤 第一回生の入学試...
験は酒田を中心に庄内三郡...
の秀才が集って来たよう...
だ。クラスの二、三番クラ...
スを受けて二、五倍の競争...
率だった。

尾関 昔、酒田にも一時...
中学はあったが、当時は女...
学校(現在の酒田西)と商...
業(酒田商業)の二校だ...
け。酒田にいれば中学校...
を作ろうという気運に満ち...
ていた。なせ庄内には...
庄内中(現鶴岡南)それに...
ちよと落ちて新庄中、秋...
たけれど、人生不可解なり

小松 入学の時だけだ...
よ。白崎君(重弥)とい...
大秀才がいて、彼も小学校...
五年から入ってきた。その...
後五年から来た人は何十年...
となかったのではないです...
か。

近藤 新しくできた校舎...
は二階建てで、そのほか雨...
天体操場があった。甲と乙...
組に分かれていて、甲は尋...
常高等学校校組、乙は小学...
校組。なせ甲には三、四...
年上のおじさんみたいな人...
がいました。

小松 新校舎に入ったら...
は二回生が早かったよう...
です。そばに大きなケヤキ...
木があって、体操の時間は...
草むしりばかりでした。

尾関 それでも勉強はみ...
んなよくできた。文部省...
の役人が視察に来て、山形...
県下の中学校を回ったが酒...
中が一番よいとふれまわっ...
た位だった。内規で二回落...
ちると退学。成績表も発表...
されたから、順位の下の方...
からいたたまれなくなって...
次第に転校したりして消え...
ていった。

小松 とにかく一回生は...
我々からみると神様で、な...
んでも一回生に見習えし...
た。それにくらべると我々...
(右・尾関貞一氏、
左・近藤正夫氏)



は気の抜けたラムネかサイ...
ダーでした。三、四回生な...
どは八幡さまの裏でなぐら...
れてばかり。こわかった...
ね。

初代校長の寛政先生...
はどんな人でしたか...
佐藤 東大の印度哲学を...
出て一生独身を過ごした。宗...
教家でしたが、たしか禅宗...
のお坊さんじゃなかったの...
ではあませんか。

尾関 厳格だが、子供を...
可愛いがった。ほんとうの...
意味の愛情があった。酒が...
大好きで失敗もあったよう...
だが、オヤジのように慕わ...
れた。必ず日本一の中学...
校にしてみせるという、努...
力が口ぐせだった。

近藤 酒中から弘前高校...
に転校したが、一介の中学...
の校長から旧制高校長に...
なった人はそんなにいない...
のではない。

佐藤 人物のスケールが...
違った。私は今まで心から...
尊敬できる人が二、三人し...
かないが寛先生はその一...
人だ。教育の神髄を酒中...
(小松直幸氏)

尾関 酒・タバコやラ...
ンチャーはあんな、ソバを...
食べても映画館に入っても...
だめなんだから。

佐藤 ぼくなんか、ま...
じゅうをマントをかぶって...
(小松直幸氏)



北郷耳鼻咽喉科医院

院長 北郷直克
(昭和五年卒業)

診療所 横浜市南区通町一ノ二
電話 〇四五(七三)五六三五
自宅 横浜市南区中島町一ノ四
電話 〇四五(七三)三三三三

西荻中央病院

院長 村上富吉
(昭和九年卒業)

病院 杉並区西荻北二ノ五ノ五
電話 三九六三一八二一
自宅 杉並区高井戸西二ノ一六ノ三九
電話 三三三三九六六六

祝 創刊 東京 亀 城 会 報

医師 齋藤兵治
(大正十五年卒業)
小平市学園東町一六六五ノ九
電話 〇四二三(四三)二〇九八

根津喜太郎
(昭和二年卒業)
目黒区五本木二ノ九ノ三四
電話 七一三三八〇三一

取締役 山口宗三
(昭和三年卒業)
杉並区高円寺北三ノ九ノ八
電話 三三七七五四一〇

竹内六郎
(昭和四年卒業)
川崎市中原区井田一四三一
電話 〇四四(七七七)五八三七

医師 大井恒夫
(昭和八年卒業)
文京区西片二ノ一九ノ一二
電話 八一五二〇一

佐藤卯朔
(昭和七年卒業)
松戸市和名ヶ谷一四一六ノ一五
電話 〇四七三(九一)四八二二

取締役 小野尚太郎
(昭和八年卒業)
神奈川県横浜市三屋四二
電話 〇四六三(七五)二二二一

校長 佐々木勘次郎
(昭和八年卒業)
千葉県佐倉市新井田二ノ一八
電話 〇四三四(八九)五八四〇

株式会社工社
(硝子プラント・公害機器製作)
取締役 清野 部
(昭和一年卒業)
藤沢市鶴沼藤ヶ谷三ノ一四ノ四
電話 〇四六六(二二)七五六三

加藤外科医院
院長 加藤信吾
(昭和二年卒業)
品川区大井一ノ四二ノ一〇
電話 七七一一五一一六八

小松原会計事務所
行政書士 小松原保男
(昭和二年卒業)
板橋区中台二ノ二七ノ九
電話 九三三三三七四〇八

東燃タンカー株式会社
取締役 八木銑次
(昭和二年卒業)
千代田区一ツ橋二丁目一ノ一
電話 二二二二二二二二

木村病院
院長 木村謙一
(昭和五年卒業)
板橋区中丸町二二一三
電話 九五九三一一二一

局長 阿部典夫
(昭和六年卒業)
日野市平山三ノ二六ノ一四ノ二
電話 〇四二五(九三)一三二〇

日本電気株式会社
中央研究所
土田耕一
(昭和六年卒業)
世田谷区奥沢五ノ二九ノ一〇
電話 七二一一三三三一二

株式会社弘生書林
社長 佐藤弘一
(昭和七年卒業)
千代田区神田神保町一ノ六〇
電話 二九四一四〇三七

※自費出版のご相談にも応じます

東京亀城会の歩み



東京亀城会初代会長
故 梅津八重蔵氏

柔剣道場完成

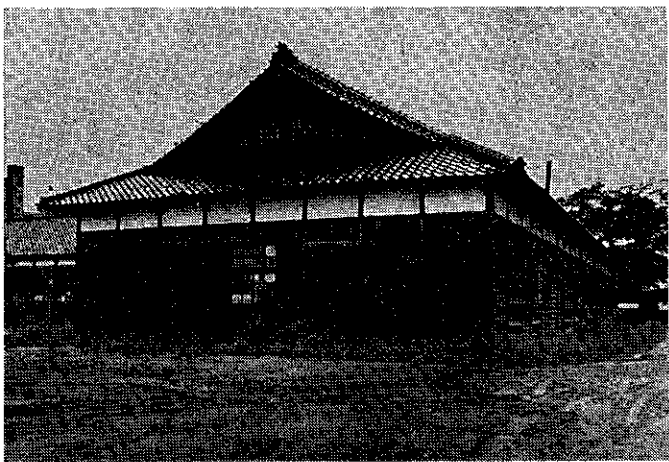
六十周年記念事業
酒田東高創立六十周年記念事業の一環として柔剣道場の新設が計画されていたが、その竣工が七月二十日に行なわれた。

式典に於いて、重組大教授・佐藤忠吉氏の「日本武道の本質」と題する記念講演をもち、佐藤忠吉八段（昭和五年卒）、池田勇治（昭和五年卒）、池田勇治（昭和八年卒）らによる柔剣道の祝賀演武が行なわれた。

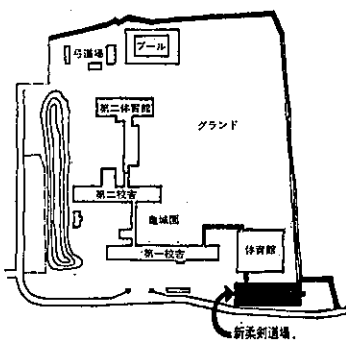
昭和初年頃、一出生を中「おぼこ」で、梅津氏が北心とした私的会合が母体。戦支社長に栄転した昭和十七年から六年間は小松氏故郷津八重蔵氏が初代会長。昭和十一年卒業生に定住者が少なかったため二回は故郷津八重蔵氏大名誉教授生で開業医をしていた小松直幸氏（二代会長）の自宅を事務局とするよう命じ（小松氏の話）ジャワ支局長へ転動。

大東亜戦争がはじまって帰国した梅津氏が「東京亀城会」という名で東京ステーションホテルで会合を開いたのが公式な会合の第一回となる。

終戦後、亀城同窓会東京支部として発足、梅津氏が支部長（通称・東京亀城会会長）となった。会合場所ともつばら銀座の小料理屋として会報を発刊した次第。



さみしく姿を消す明道館武道場



柔剣道場は第一体育館の脇に建てられ、その代り昭和十一年以来親しまれてきた第二体育館（旧明道館）が取りこわされ、テニスコートの正面に飾られた「櫻の木」の作品に三百万円がかかっている。

「櫻」の巨木は学校西側の土手にあったが、戦時中、破壊され、枯れの状態となっていたのを切り倒して亀ヶ崎在住の松田武夫さんが磨きあげたもの。東神寺城の学校の歴史の経過を示す、いわば酒田・酒東精神の象徴として飾ったものである。

酒田東高亀城同窓会では創立六十周年記念として同窓会の「会員名簿」ならびに「創立六十周年記念誌」を発刊しました。記念誌は

母校より三先生をむかえ、集う若者25名。まず河村会長の激励のあいさつ、ついで先輩の体験談として、大川瑞穂専修大助教授、菅原俊也玉川大学教授、お二人が話され、貴重なアドバイスを示唆していただき、予備校生諸君も自らの勉強方法や、生活上の悩み、今後の行き方など、腹藏なく意見を交換、来年度の栄光を胸に秘め、合格を誓い合って散会しました。

酒東予備校生 激励会開く

受験戦争は年々激化の一途をたどっています。この試験に打ち勝たなければ栄冠を得られないのも現実です。しかし、都会生活の不便さや受験戦争のほろろさはその悩みも深刻です。

そんな悩みや打明け話を、自己PRには広告欄を御利用下さい。

会員の皆さまに お願い

来年度の二号より「会員の消息欄」を設けます。どんな小さな会合・催しや消息、慶弔、出産、結婚その他転動などお知らせ下さい。

自己PRには広告欄を御利用下さい。

相馬法律事務所

主任弁護士 相馬 功
(昭和三十一年卒業)

港区虎ノ門一ノ五ノ一六丸ビル六階
電話 五九一四一六六
自宅 狛江市西野川二ノ一八ノ八
電話 四八〇〇一七三

堀法律事務所

主任弁護士 堀 廣士
(昭和三十一年卒業)

中央区銀座一ノ七ノ六(タニザワビル)
電話 五九四一〇一七三
自宅 千葉県柏市西山一ノ二ノ九
電話 〇四七二七四二二七

郷土料理 銀座 庄内浜

三原橋交番そば
五九四一三九

注意

最近東京亀城会、あるいは酒田東高卒業生と称して、新聞・雑誌の特集記事の企画などというて、広告を強要している者がありますが、東京亀城会、酒田東高とは、一切関係がありませんので、よろしくご注意をお願いいたします。

万一、そのような電話、もしくは書面がまいりましたら、事務局にご一報いただければ幸いです。

当方で善処いたします。

祝 創刊 東京亀城会会報

日鐵化学工業株式会社

取締役相談役

工学博士 吉田 尚
(昭和三十一年卒業)

自宅 田無市西原町四ノ六ノ九
電話 〇四四(六)一七五三

白井十四雄

(昭和五年卒業)

千代田区九段北一ノ八ノ一〇
電話 二六三一二三一

日本歩け歩け協会・会長
インドネシア文化の会・会長
東洋医学国際研究財団・理事長
日本ユネス・ホステル協会・常任顧問

金子 智一
(昭和七年卒業)

世田谷区上祖師谷三ノ二ノ一五
電話 四八三一二〇八七

曾根原 重郎
(昭和八年卒業)

板橋区加賀一ノ一八ノ一
電話 九六一一五二二六

赤電話の田村電機協力工場 ステンレスシャフト類精密機加工 株式会社本間製作所

取締役 本間 修士
(昭和三十一年卒業)

本社 大田区西蒲田三ノ二ノ四
電話 七五三一六九六〇
山形県米沢市広幡町上小菅
電話 〇三三八(三七)三〇三五

三友特金株式会社

(粉末冶金による含油軸受・エアジョイント製造)

取締役 高橋 重雄
(昭和二十四年卒業)

本社 目黒区上目黒一ノ三ノ九
電話 七一九一五四二一
山形工場 遊佐町北目字蟻塚七六の一〇
電話 〇二三四七(七)三三二一

古書売買・五十嵐書店

五十嵐 智
(昭和二十八年卒業)

新宿区西早稲田三ノ二ノ一〇
電話 二〇二一八二〇一
自宅 電話 二〇八一二六九七

兄弟自動車ボディ修理工場

取締役 渡辺 武
(昭和三十一年卒業)

大和市中中央六六六
電話 〇四六二(六)一八六二五

総会開催のお知らせ

東京亀城会の総会も、年々出席者が増加し、毎年八〇名から一〇〇名前後となってきたています。その上、年ごとに懇親の実をあげ、親睦の度合を深めていってやるのは心強い限りです。毎年、一年後の再会を約して別れ、お互い元気な様

十五人、酒東八人、米興五人、山南と寒河江の各四人、慶大には山東八人、酒東三、鶴南、山南、米興、寒河江の各一人など。東京齒科大は山東七人、酒東五人、そして女子大の津田塾大に酒東一人となってい

子に接し、母校の様子、同期生の動向、先輩の動きなどを知り、お国なまりで話せるのも、同窓会ならではの魅力でしょう。

昭和55年度東京
亀城会 会計報告
(自53年11月18日～至55年10月31日)

本年もふるってみなさま
にご参加いただけるよう、
ご出席をご予定のかたは、
お手数でも東京亀城会事務
局まで一報下さい。
右 紙上をかててお知ら
せいたします。

※収入
○前年度繰越金、(円)
一、二四、九三〇
○53年度総会剰余金
八七、〇〇〇
○母校より謝礼
五、〇〇〇

日時	十月三十日(金)	〇会長より
	午後五時三十分	七〇〇〇
場所	都道府県会館(地下)	収入合計
	※支出	二二三、九二〇
		(円)

東京亀城会役員

に通知できません。そのため、出席希望者は誠に申し訳ありません。○印内数字は卒業年次。
会長 ⑨河村竜郎

副会長 ⑫若林義治、⑬佐藤昌祐

す。今までご出席の方には
往復ハガキで御通知申上げ
ます。

常任理事 ⑥加藤文吉
⑪菅原謙也、⑩若林邦
三、⑬乙坂進、⑫阿部
熒、⑭村上義八郎、

56年度山形県下有名校進学状況

昭和五十六年の県立公立
高校から各大学への進学状

一郎、^{③〇}池田実元、^{③②}
大滝千佐子、^{③③}鈴木義

宏 ③小永光隆 ④五
十嵐義晃、(定)高橋重
雄、(定)金湖東吉

東大には山形東八、鶴岡
南二、米沢興護館一の計十

理事
③根津喜太郎、④高橋

一人。京大には山東二、鶴岡南一の三人。東京工大に

二、⑬中村哲夫、⑭宮崎正広、⑮佐藤哲夫、

前が見えないのは淋しい。
酒東は筑波大に四人、東北

②〇 北村 総一、②① 鈴木 友

56年度より会費徴収

||約百三十名がきよ出||

東京亀城会も十五周年をむかへ、ますます発展の一端を辿っていますが、それとはうらはらに財政事情は逼迫する一方です。

そこでこの窮状を打開するため、緊急役員会を開き、会員一人年会費として千円

⑧鈴木登能弥、⑨曾根原重郎、⑩小野尚太郎、⑪中山英士、⑫池田洗、⑬長堀孝吉、⑭村上富吉、⑮高橋豊吉、⑯太田賢三、⑰乙坂直吉、⑱橋本武三郎、⑲三平直一、⑳松田英夫、㉑長谷川徹、㉒本間修士、㉓高橋剛、㉔

を徴収することに決定、即時実施いたしました。

その結果、約五〇名から

亀城会総会

こんち

○（数字）は卒業年次、敬称略。

東京亀城会総会は、ご出席の方には一年に一度の参

②山田清作、③根津喜太郎
⑦大山雄司、⑧後藤武雄、
しみですが、一方この開催
の裏方の事務局にとっては

頭痛の種でもあります。

也、²²齋藤昭三、²³大谷良雄²⁶阿部貞良、²⁷

③1 野呂広樹、③2 佐藤篁
 ②9 佐藤順陽、③0 堀広士
 兵藤立美、②1 白崎利三

55年度東京府会総会に
 去る55年11月28日、麻布グ
 リーン会館に

太郎、³⁵鈴木明人、³⁵
綾部正昭、³⁶斎藤昭一

開かる

於て盛大にひ
られ、七五

大に開
席＝
名の出席者を
みました。
あ、こゝ当

村三瀝、③相馬功
顧問 ①尾関貞一、①近
75名占
日は雨天にも
拘らず、この

藤正夫、①斎藤芳夫、
①佐藤甚蔵、②小松直

会総
拘らず

多数のご出席
で、諸兄の熱

幸、⑤竹内六郎。
事務局長 ①斎藤芳夫
二亀城
天にも
ほかに
意には感謝の
ん。母交來賓

雄、⁽²⁴⁾村上儀八郎、⁽²⁹⁾
⁽²²⁾阿部鎧一、⁽²³⁾大谷良
 一雨

佐藤順陽²⁹ 池田教一郎
③⑦ 熊谷正義

5年度

れ、また佐々
木母校々長の

5 あいさつなど
和気あいあいのうちに会
進可、きいご交歌でしあ

進行 和気 55年度東京亀城会総会盛大に開かる

＝雨天にも拘らず75名出席＝

リーン会館に於て盛大にひ
 らかれ、七五
 名の出席者
 をみました。
 あいにく当
 日は雨天にも
 拘らず、この
 多数のご出席
 で、諸兄の熱
 意には感謝の
 ほかありません。
 母校来賓
 として、鳥海
 先生が来場さ
 れ、また佐々
 木母校々長の
 あいさつなど
 のうちに会は
 ば校歌でしめ
 了。

業年次、敬称略。
 ○印内の数字は卒
 業年次、敬称略。

①斎藤芳夫、①佐藤甚蔵、
 ②小松直幸、④高橋広記、
 ④山口宗三、⑤竹内六郎、
 ⑤松平藤太郎、⑥加藤文吉
 ⑥山本宏、⑧高瀬清、⑧佐
 藤卯朗、⑧金子智一、⑨菊
 池莞二、⑨佐々木勘次郎、⑨
 斎藤佐々雄、⑨荒木浅吉、
 ⑨若林邦三、⑨若林義治、
 ⑩八木鉦次、⑭安達貞一、⑭
 青塚治夫、⑭佐久間正、⑭
 金子武次、⑭上野治男、⑭
 斎藤昭三、⑭阿部鉄一、⑭
 斎藤勝郎、⑭石坂眞治、⑭
 仲条立一、⑭村上蔵八郎、
 ⑮五十嵐儀男、⑮瀧美英
 夫、⑮佐藤良男、⑯斎藤博
 西村三彌、⑯西田佑、⑯
 菅原浩郎、⑯金山義雄、⑯
 三(母校々長)。

阿部明、③斎藤源治、③島
 海俊材、③五十嵐清、③島
 門文好、③大瀧千佐子、③
 瀨木、③小野正夫、③富郷
 健三、③後藤洋一、③奥山
 統史、③斎藤昭一、③熊谷
 正義、③五十嵐義晃、③村
 田晃、③門崎敏一、③佐藤
 卓、③前田治樹、③菅原良
 次、①阿部昭吾、③大谷良
 一、③松田勇、③佐々木猛

※来賓
 斎藤永子(前会長夫人)
 須田栄一、柴田貢(酒商交
 業生代表)、本間昭之助、
 吉永丑太郎、島海俊士(角
 城同窓会本部)、佐々木全

いたしました。おかげをもちまして、無事発刊にこぎつけることができました。このことを感謝申し上げます。編集者の未熟さから内容的にはご不満もあるかと思いますが、次回より、会員相互の親睦をはかるかけ橋として、のきめ細かい情報紙にしていきたいと念じております。

なお、作成にあたりご協力いただいた阿部、土田、池田の三氏（事務局）、中外日報社（日本最古の宗教紙）の本間社長（酒商卒）椎名記者（鳥海先生の甥）に御礼申し上げます（佐藤順陽記）

東京亀城会総会は、ご出席の方には、一年に一度の染しみですが、一方この開催の裏方の事務局にとっては頭痛の種でもあります。

不備な名簿の訂正、新名

など休むいとまもないほどなのが通例です。こんな通弊を打破しようと、最近会員の方々の間に、この煩瑣な事務を、事務局と有志の人たちに押しつけてばかり

運営委員会を構成して幹事役を引受けてもらい、それを事務局側がサイドからバックアップしていく、というやり方です。

まだ試案の段階ですが、いずれ役員会で検討されると思いますので、実施のせつは、よろしくご協力をお願いします。

会報が発行されることになった記念で発行される酒東集城同窓会会員名簿に同封して配布しようということなどで急いで作つたため、記事ならびに賛助広告のご無理なお願いをし、会員の皆さまには多大のご迷惑をおかけ

⑧鈴木登能弥、⑨曽根原重光、⑩小野尚太郎、⑪中山英士、⑫池田洗、⑬長堀孝吉、⑭村上富吉、⑮高橋豊吉、⑯太田賢三、⑰乙坂進吉、⑱太田武三郎、⑲三平直一、⑳松田英夫、㉑長谷川徹、㉒本間修士、㉓高橋剛、㉔重光、㉕佐藤万亀子、㉖佐前孝生、㉗長谷部和良、㉘梅木浩爾、㉙近藤正夫、㉚尾関貞一、㉛金湖東吉、㉜今後ともよろしくご理解の上、㉝協力させていただきます。なお、総会に出席された方々はお、当日納入頂きました。

母校が創立六十周年（昨年）を迎え、東京亀城会もできてから四十年以上たつたというのに年一回の会合だけでは猪展するどころか喜

郷土料理

おばあ

大内 きく

銀座一四一〇 大内ビル
電話 561 六三四一・六四六六

編集後記

電話 〇四二四(六一)五五六三

東京亀城会副会長

佐藤昌祐

(昭和二年卒業)

蒼駒会(洋画)主宰

自宅 所沢市山口五四一ノ三

東京龜城會
事務局長
齋藤芳夫
(大正一四年卒業)
阿部鏌一
(昭和二〇年・22回・卒業)
大谷良雄
(昭和二十三年卒業)
村上儀八郎
(昭和二十四年卒業)
池田教一郎
(昭和二十九年卒業)
佐藤順陽
(昭和二十九年卒業)
熊谷正義
(昭和三十七年卒業)

財務担当
土田喜彦
(昭和二十八年卒業)

自宅 中野区新井五ノ二八ノ九
電話 〇三(三八七) 四七三一